

## わかやま版「過疎集落支援総合対策」事業

# 未来へ“繋ぐ”花園活性化プロジェクト 決定！！

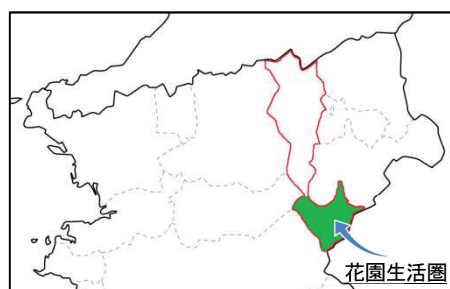
本県が全国に先駆けて開始した「過疎集落支援総合対策」事業は、県が「ふるさと生活圏」に飛び込んで、地域の特性を活かした住民主体の過疎対策を現場で住民とともに考え、支援するものです。

この度、新たにかつらぎ町花園生活圏の計画が決定しましたので、お知らせいたします。

### 計画概要

かつらぎ町花園生活圏は、護摩壇山の北、高野山の南、有田川の源流部に位置し、弘法大師空海の高野山開創とともに拓かれた地域である。

近年、人口減少や高齢化により地域活力が低下しているため、特産品である高野槇の活用や地域の交流拠点づくりなどに取り組むことにより、未来に繋げる持続可能な地域を目指すものである。



【位置図】

- 事業期間 2019年度～2021年度
- 事業主体 花園夢づくりの会
- 全体事業費：18,008千円(うち県:9,997千円)
- 主な事業内容

#### 《高野槇活用による地域活力向上》

- ・花園産高野槇の生産拡大
- ・花園産高野槇の規格統一
- ・規格外品の活用

#### 《地域の担い手不足の解消に向けた取組》

- ・移住者受入の推進

#### 《地域内外の交流拠点づくり》

- ・直売所の拡充(飲食の提供等)
- ・販売商品の品揃え強化

#### 《観光資源の活用による交流人口の増加》

- ・観光情報発信の充実
- ・体験メニューを通じた地域内外交流
- ・“花園”魅力アップ(四季の花木を植栽)



【高野槇】



【直売所】

※生活圏の現状 人口:307人、集落数:6集落、高齢化率:52.1%

※ 県内取組生活圏数：20市町村 35生活圏(国事業:22事業、県事業:16事業)【平成31年3月26日現在】

担当：企画部 移住定住推進課  
定住推進班 小住・松下  
TEL：073-441-2426 FAX：073-441-2939

# 未来へ“繋ぐ”花園活性化プロジェクト

## 花園生活圏(かつらぎ町)

### 現状

#### 【平成27年国勢調査】

人口・世帯数 : 307人・167世帯  
高齢者人口 : 160人(52.1%)  
年少人口 : 10人(3.3%)

#### 【集落数】6集落

(梁瀬、北寺、新子、池之窪、  
中南、久木)

#### 【特産品】高野槇

#### 【生活環境】

行政 : かつらぎ町役場花園支所  
学校 : 梁瀬小学校(7名)、花園幼稚園(2名)  
交通 : コミュニティバス(笠田駅~花園:5往復/日)  
買い物 : JA紀北かわかみ花園グリーン店(月2回生鮮品販売)  
移動販売(松源:週2回、魚・肉販売:週1回)  
福祉 : かつらぎ町社会福祉協議会花園支所  
かつらぎ町高齢者生活福祉センター  
郵便 : 花園簡易郵便局

#### 【町有交流施設】

はなぞの温泉「花圃の里」、花園守口ふるさと村  
花園グリーンパーク、キャンプ場4カ所、恐竜館等

#### 【地域資源】

遍照寺、北寺観音、池之窪阿弥陀堂、一事稻荷  
上花園神社、下花園神社、南垣内地蔵堂、金剛の滝  
榎の木、恐竜ランド、ジャンボ壁画、星空のつどい等  
伝統文化 : 花園の御田舞、花園の仏の舞、たい松押し  
【地域おこし協力隊】平成30年度~1名採用

### 課題

- ・人口減少、高齢化の進行による地域活力の低下
- ・高野槇生産の担い手不足による地域外業者への委託林や放置林の増加
- ・花園地域の核となる産業がない

- ・観光、キャンプ、サイクリング等で花園を訪れる方との交流が希薄
- ・地域住民や観光客等が気軽に立ち寄れる場所がない
- ・地域の観光資源が十分PRできていない

### 対策

#### 1. 高野槇活用による地域活力向上

##### ○花園産高野槇の生産拡大

- ・地域内外槇山所有者へのアンケート調査  
(活用状況把握・貸付意向調査等)

##### ○花園産高野槇の規格統一

- ・規格統一のための生産者講習会開催
- ・統一ロゴ制作とステッカー製作
- ・都市部等での販売促進  
(パンフレット、看板製作、寺院訪問、商談会)

##### ○規格外品の活用

- ・小枝を組み合わせた商品の開発・生産
- ・作業場整備(高齢者等の活躍促進)
- ・土壌改良材等への活用

#### 2. 地域の担い手不足の解消に向けた取組

##### ○移住者受入の推進

- ・空き家実地調査、住民アンケートの実施
- ・移住相談窓口の設置と移住者サポート



【高野槇山】



【高野槇商品】

#### 3. 地域内外の交流拠点づくり

##### ○直売所の拡充(土・日開店)

- ・観光客や住民が集える軽食スペースの設置
- ・サイクルステーションの整備

##### ○販売商品の品揃え強化

- ・コーヒー、弁当等販売
- ・加工品、地元産品、日用品、キャンプ用品
- ・コンニャク芋の栽培と生芋コンニャクの生産



【直売所】

#### 4. 観光資源の活用による交流人口の増加

##### ○観光情報発信の充実

- ・名所看板の製作・設置
- ・花園PR用の四季映像等の制作

##### ○体験メニューを通じた地域内外交流

- ・コンニャク・ピザ作り体験の実施
- ・星空観察会の開催

##### ○“花園”魅力アップ

- ・四季折々の花木の植栽



【遍照寺】

### 目指すべき姿

- ・花園産高野槇の規格統一と生産販売体制の確立
- ・移住の受入による人口増加と高野槇生産の後継者の育成
- ・観光客を増加させ、交流を通して地域の活性化を図る

【事業期間】2019年度~2021年度

【事業主体】花園夢づくりの会

全体事業費 : 18,008千円

県 : 9,997千円

町 : 8,011千円